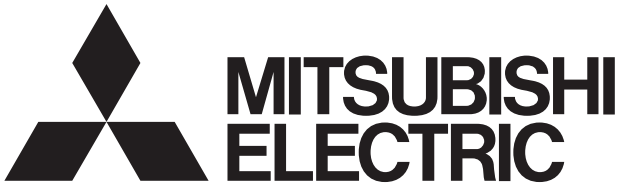




2205875HB6104



ジェットタオル® 自動ドア連動回路ボックス

形名

JP-100RD2 100V専用

据付工事説明書

販売店・工事店様用

■この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事の前に、この説明書を必ずお読みください。

- 据付工事は販売店様、または専門の工事店様が実施してください。間違った工事は、事故の原因になります。
- 電気工事は第二種電気工事士が行ってください。
- 据付工事部品は、必ず同梱部品および指定の部品を使用してください。当社指定部品を使用しないと、事故の原因になります。
- お客様ご自身での工事は、事故の原因になります
- この自動ドア連動回路ボックスは、ジェットタオルの運転と連動して自動ドアを開・閉させるための回路ボックスです。ここでは回路ボックスの取付けと結線を示します。
- ジェットタオルおよびヒータースタンド、ヒーターユニットの据付けについては、各製品に同梱の据付工事説明書を参照してください。






もくじ	
安全のために必ず守ること	2
使用部品	2
使用箇所	3
据付場所の選定	3
据付方法	4~8
JT-SB116JH2・KN2形	4
JT-SB216JSH2・KSN2形	4
JT-HC116JH2・KN2形	4
JT-FB116JH2形・JT-FB216JSH2形	5
JT-SB116LH・MN形	6
JT-SB216LSH・MSN形	6
JT-WB220DS形	7
ジェットタオル本体の固定	7
回路ボックスの接続と固定	7~8
据付方法【ジェットタオルが既設の場合】	9~10
動作遅延時間の調整	11
据付工事後の確認	12
試運転	12
お客様への説明	12




この自動ドア連動回路ボックスは下記のジェットタオルと組み合わせて使用します。

- JT-SB116JH2・KN2形
- JT-SB216JSH2・KSN2形
- JT-HC116JH2・KN2形
- JT-FB116JH2形
- JT-FB216JSH2-W形
- JT-SB116LH・MN形
- JT-SB216LSH・MSN形
- JT-WB220DS形

安全のために必ず守ること

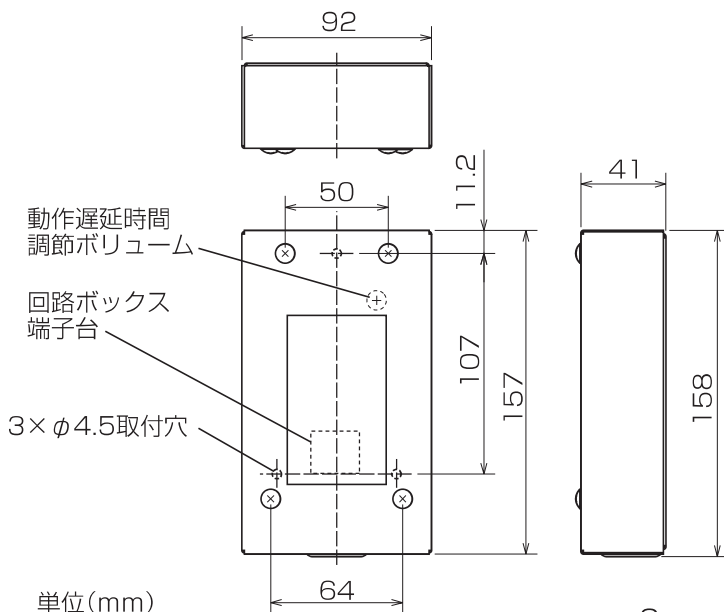
● 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

 警告		誤った取扱いをしたときに死亡や 重傷などに結びつく可能性があるもの	
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源コードを傷付けたり、破損したり、加工しない ● 無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、たばねたりしない ● 重い物を載せたり、挟み込んだりしない（電源コードが破損し、火災、感電の原因となります） 	 指示に従う	<ul style="list-style-type: none"> ● 交流100Vを使用する（間違った電源を使用すると火災、感電の原因となります） ● 配線工事は電気工事士の資格のある方が、電気設備技術基準や内線規程に従って確実に（誤った配線工事は火災・感電のおそれがあります）
 分解禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● 改造や、必要以上の分解はしない（火災、感電、けがの原因になります） 		<ul style="list-style-type: none"> ● 配線工事は、必ずジェットタオル本体の電源プラグを抜いて（専用配線の場合は、漏電しゃ断器を切って）から行う（感電するおそれがあります）
 風呂・シャワー室での使用禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● 浴室など湿気が多い場所や、結露する場所、直接水のかかる場所には据付けない（感電の原因になります） 		

 注意		誤った取扱いをしたときに軽傷または 家屋・家財などの物的損害に結びつくもの	
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● 製品（電源ケーブル）に通電した状態で据付工事をしない（感電するおそれがあります） 	 指示に従う	<ul style="list-style-type: none"> ● 据付けの際は手袋を着用する（着用しないとけがをするおそれがあります）

使用部品

● 同梱部品はすべて使用します。捨てないでください。



同梱部品

- 壁固定ねじ……………3本
- コードクリップ……………1個
- 信号線……………1本
- 電源コード……………1本
- コードクリップ用固定ねじ…1本

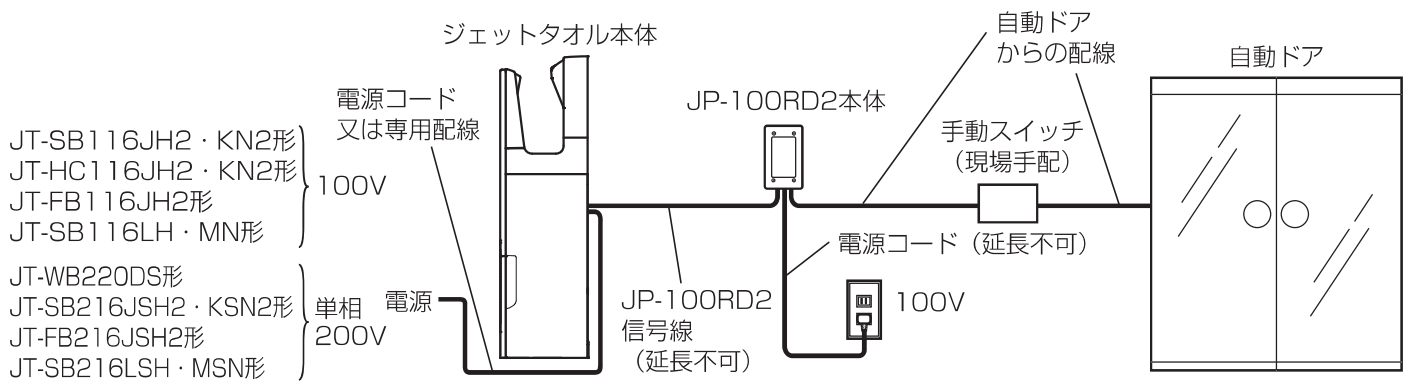
一般市販部品

- 手動スイッチ……………1個

お願い

同梱部品はすべて使用します。捨てないでください。

使用箇所



工事概要

詳細内容は参照ページで確認してください。

- ジェットタオルが既に設置している場合は、ジェットタオル本体をいったん取りはずす。
[9～10ページ]
- 1. ジェットタオルの前パネルを取りはずす。
(ジェットタオルに同梱の据付工事説明書を参照してください)
- 2. ジェットタオル背面から信号線を挿入し、ジェットタオルと接続する。[4～7ページ]
- 3. ジェットタオルを固定する。[7ページ]
- 4. 回路ボックスを壁面に据付けて、配線する。[7～8ページ]
(信号線、電源コード、自動ドアからの配線・手動スイッチの取付け)

据付場所の選定

警告



指示に従う

- 配線工事は電気工事士の資格のある方が、電気設備技術基準や内線規程に従って確実に
(誤った配線工事は火災・感電のおそれがあります)

■ 次のような場所に本体を据付けないでください。(故障の原因になります)

- ・ 屋外
- ・ 0℃未満になる場所
- ・ ほこりの多い場所
- ・ 40℃以上になる場所
- ・ 結露する場所
- ・ 塩害地域
- ・ 日光、強い光が当たる場所
(本体の手検知センサーが誤作動するおそれがあります)
- ・ 乗りもの(船舶・航空機を含む)
- ・ 腐食性ガス、中性ガス、還元性ガスの存在する場所
- ・ 食材、食器等の近く
- ・ 厨房
- ・ 直接水がかかる場所
- ・ 消毒槽のある部屋、プール、浴室
- ・ 床が常時濡れている場所
- ・ 湿度95%以上になる場所

■ 手動スイッチ(現場手配)を必ず取付けてください。[8ページ参照]

- 万一、ジェットタオルが故障したときに自動ドアを動作させるための手動スイッチを必ず取付けてください。

据付方法

警告



指示に従う

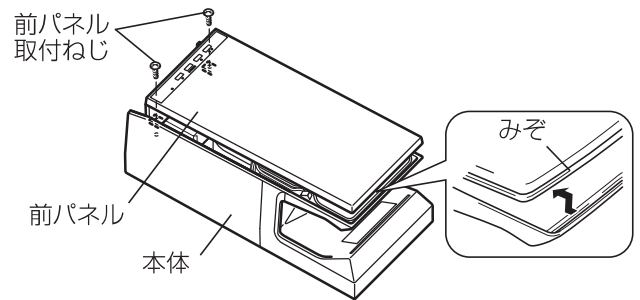
- 交流100Vを使用する
(間違った電源を使用すると火災、感電の原因となります)
- 配線工事は電気工事士の資格のある方が、電気設備技術基準や内線規程に従って確実に
(誤った配線工事は火災・感電のおそれがあります)
- 配線工事は、必ずジェットタオル本体の電源プラグを抜いて(専用配線の場合は、漏電
しゃ断器を切って)から行う
(感電するおそれがあります)

機種によって配線方法が異なります。対象機種を参照してください。

JT-SB116JH2・KN2形、JT-SB216JSH2・KSN2形、 JT-HC116JH2・KN2形の場合

同梱の信号線の接続と固定

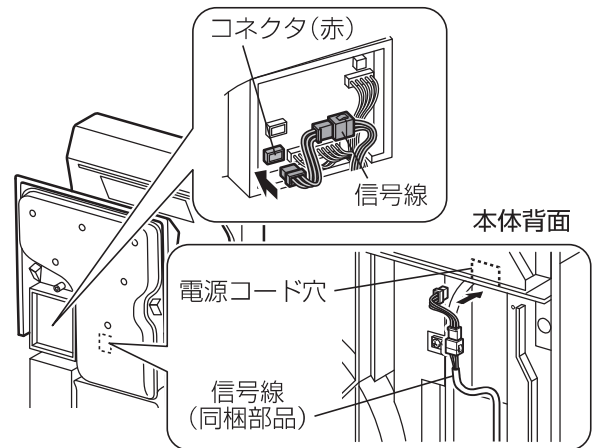
1. 前パネルを取りはずす。
(ジェットタオルの据付工事説明書参照)



2. ジェットタオルの背面から同梱の信号線を電源コード穴から挿入する。

- ① 挿入した信号線のコネクタ(赤)を回路左下のコネクタ(赤)に確実に接続する。
- ② 信号線を固定する。
 - 信号線の固定には同梱のコードクリップ用固定ねじを使用します。

■信号線の挿入・接続のしかた

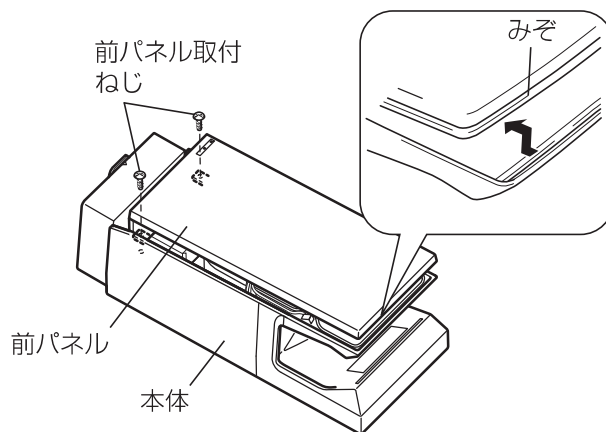


■信号線の固定のしかた



同梱の信号線の接続と固定

1. 前パネルを取りはずす。
(ジェットオールの据付工事説明書参照)



2. ジェットオールの背面から同梱の信号線を電源コード穴から挿入する。

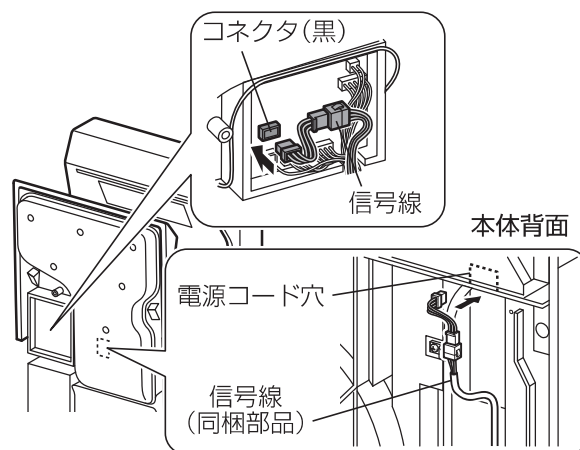
- ① 挿入した信号線のコネクタ (赤) を回路左下のコネクタ (黒) に確実に接続する。
- ② 信号線を固定する。

- 信号線の固定には同梱のコードクリップ用固定ねじを使用します。

お願い

- 信号線のコネクタ (赤) と回路左下のコネクタ (黒) は色が異なりますが、接続に間違いはありません。

■信号線の挿入・接続のしかた



■信号線の固定のしかた



JT-SB116LH・MN形、JT-SB216LSH・MSN形の場合

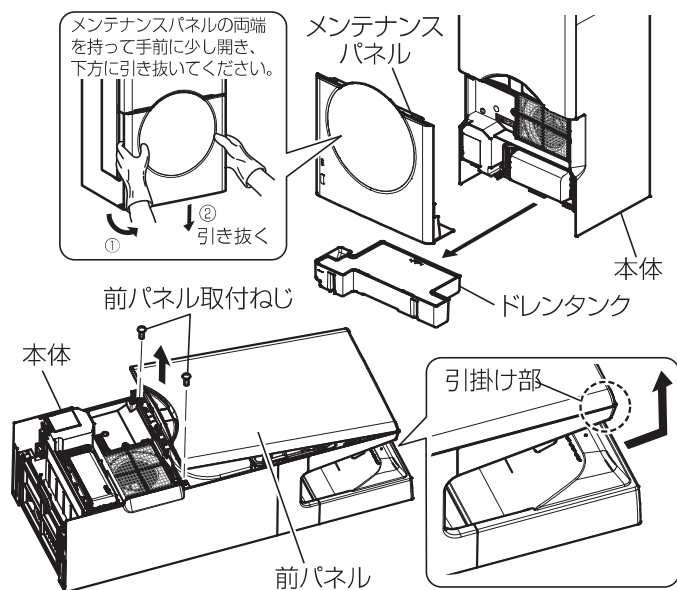
同梱の信号線の接続

1. メンテナンスパネルと前パネルを取りはずす。

お願い

- 前パネル下部を無理に持ち上げると変形するおそれがあります。下記手順に従って取りはずしてください。

- ①前パネルのねじ(2本)を取りはずす。
- ②前パネル下部を少し持ち上げる。
- ③前パネルを上部方向にスライドさせて、ジェットタオル本体の引っ掛け部から取りはずし、前パネルを取りはずす。



2. ジェットタオルの背面から同梱の信号線を電源コード穴から挿入する。

- ①挿入した信号線のコネクタ(赤)を回路左下のコネクタ(赤)に確実に接続する。
 - ②信号線を固定する。
- 信号線の固定には同梱のコードクリップ用固定ねじを使用します。

コンセント用電源コード使用の場合

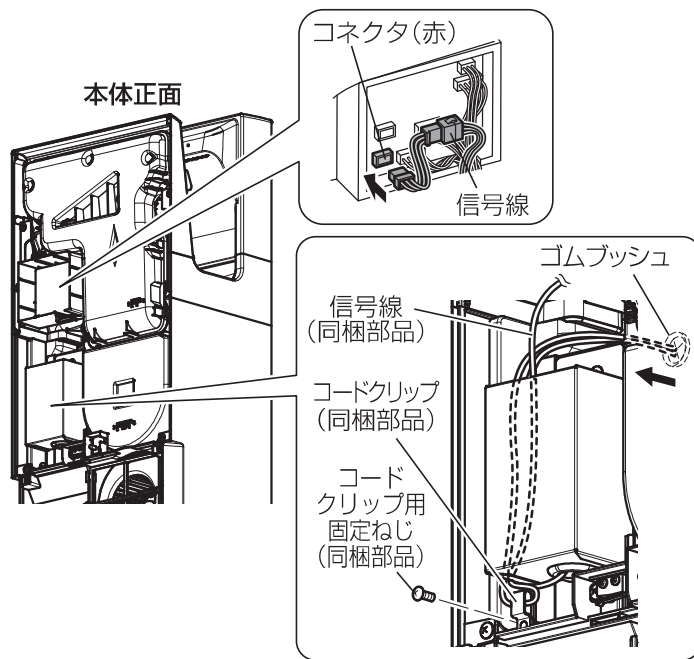
本体正面のコードクリップ固定ねじ穴を使用し、同梱のコードクリップ、固定ねじで信号線を固定する。

専用配線の場合

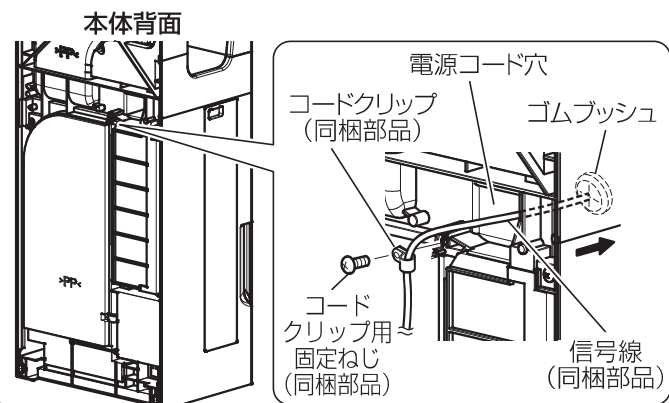
本体背面のコードクリップ固定ねじ穴を使用し、同梱のコードクリップ、コードクリップ用固定ねじで信号線を固定する。

■信号線の挿入・接続・固定のしかた

コンセント用電源コード使用の場合



専用配線の場合



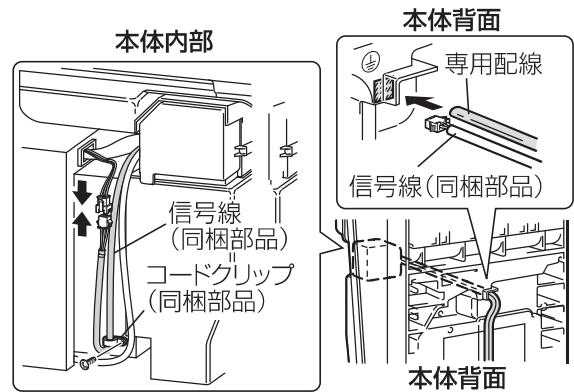
据付方法 つづき

1

JT-WB220DS形の場合

- JT-WB220DS形の場合の信号線の固定は、回路ボックス下のねじを利用して同梱のコードクリップで固定してください。

■信号線の挿入・接続・電源コードの固定のしかた



2

ジェットタオル本体の固定

〔新設の場合〕

ジェットタオルに同梱の据付工事説明書に従って実施します。

また、ジェットタオルスタンド (JP-S21FS2、JP-S06FS2、JP-23FS)、ヒータースタンド (JP-310HS2)、ヒーターユニット (JP-110HU2、JP-210HU2) を併用させる場合はそれぞれの据付工事説明書に従って実施します。

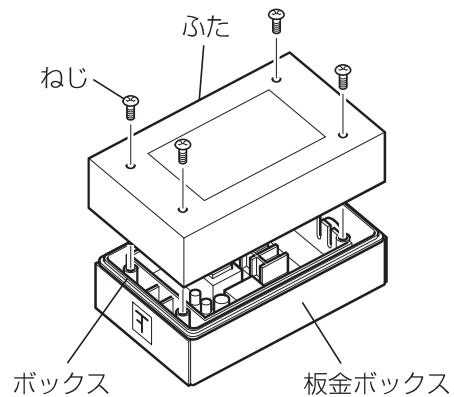
〔既設の場合〕

取りはずしと逆の順序で固定します。 [7～8ページ参照]


3

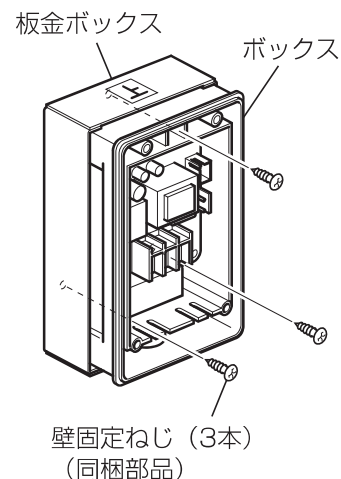
回路ボックスの接続と固定

1. ねじ4本を取りはずして、ふたを取りはずす。



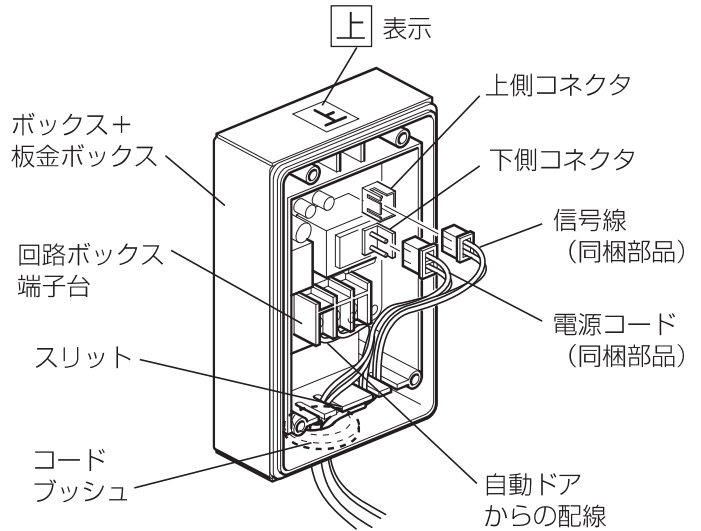
2. ボックス・板金ボックスを共締めで同梱の壁固定ねじ (3本) で壁面に据付ける。

- 板金ボックスは、信号線 (約1.0m) の届く範囲で水のかからない場所にボックスの  表示面が、上になるように据付けます。



3. 配線をする。

- ①同梱の信号線をコードブッシュからボックス内に入れ、上側コネクタに差し込む。
- ②同梱の電源コードをコードブッシュからボックス内に入れ、下側コネクタに差し込む。
- ③自動ドアからの配線も、コードブッシュから通して回路ボックス端子台に市販の圧着端子（丸型端子、先開型端子のM4ねじ用）を使用して接続する。

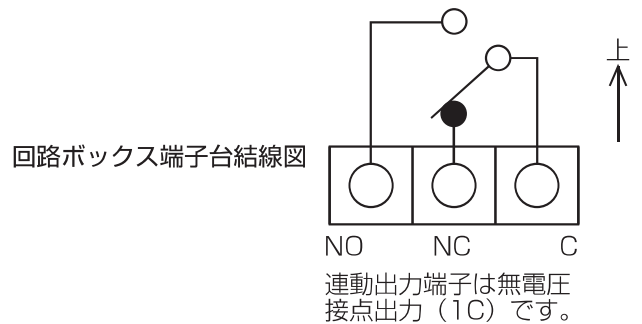


4. 配線を固定する。

- ①各配線をそれぞれスリットに差し込む。

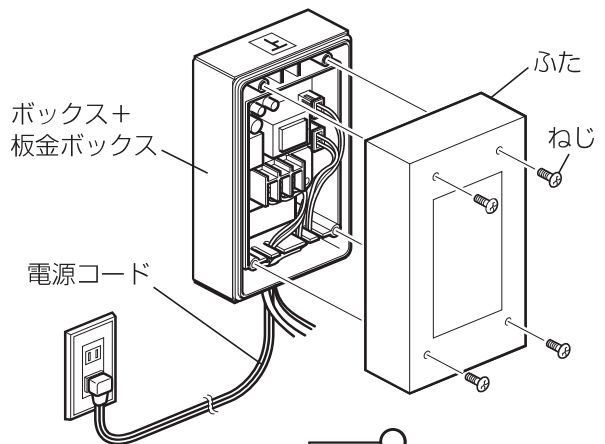
お願い

- 信号線は切断したり延長したりしないでください。電気用品安全法により禁止されています。
- 信号線を壁に固定するときは信号線を傷つけないように注意してください。



5. ふたを取付ける。

- ①ふたをする前に確実に結線されているか再度確認する。
- ②取りはずしたねじ4本でボックスにふたを固定する。



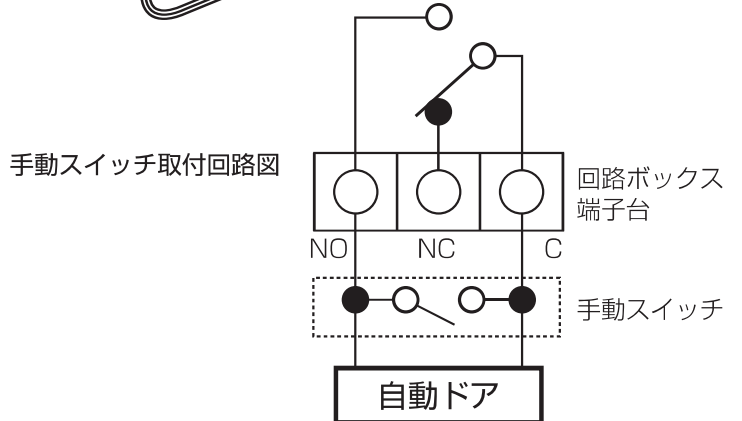
6. 電源プラグをコンセント (100V) に差し込む。

7. 手動スイッチを取付ける。

手動スイッチは、右記回路図を参考にしてください

お願い

- 手動スイッチは必ず取付けるようにしてください。



据付方法 【ジェットタオルが既設の場合】

いったんジェットタオルを取りはずしてから工事を行います。ここでは、取りはずしかたを説明します。

共通実施項目

1. 電源を切る。

(電源プラグを抜く、専用配線の場合は漏電しゃ断器を切る)

2. 前パネルを取りはずす。(図1、図2、図3参照)

- ①メンテナンスパネルを取りはずす。
(JT-SB116LH・MN形)
- ②ドレンタンクを抜く。
- ③前パネル取付ねじ(2本)を取りはずす。
- ④前パネルを取りはずす。
(前パネルの下側を少し持ち上げ、上側を本体の引掛け部から取りはずす)

お願い

- 前パネル下部を無理に持ち上げると変形するおそれがありますので注意してください。

3. 電源コードが専用配線の場合

- ①速結端子のはずしボタンをマイナスドライバーで押しながら取りはずす。
(図1、図2、図3参照)
- ②ヒータースタンドに専用配線が取付けてある場合は前パネル、保護ネットを取りはずし、速結端子のはずしボタンをマイナスドライバーで押しながら取りはずす。(図4参照)
- ③ヒータースタンドの場合、専用配線を固定してあるコードクリップを取りはずす。(図4参照)

4. ジェットタオルを壁・床から取りはずす。

※以降は設置方法によって異なります。該当する項目を参照してください。

■ジェットタオル本体が壁固定の場合

JT-SB116JH2・KN2形、
JT-SB216JSH2・KSN2形、
JT-HC116JH2・KN2形、
JT-FB116JH2形、
JT-FB216JSH2形、
JT-SB116LH・MN形、
JT-SB216LSH・MSN形の場合(図1、2参照)

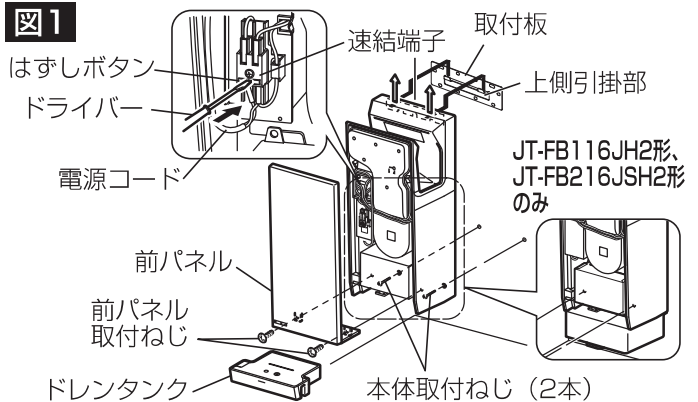
本体取付ねじ(下側2本)を取りはずし、ジェットタオルを持って取付板の引掛け部から取りはずす。

JT-WB220DS形の場合(図3参照)

本体取付ねじ(上側・下側の2本)を取りはずし、ジェットタオルを持って取付板の引掛け部から取りはずす。

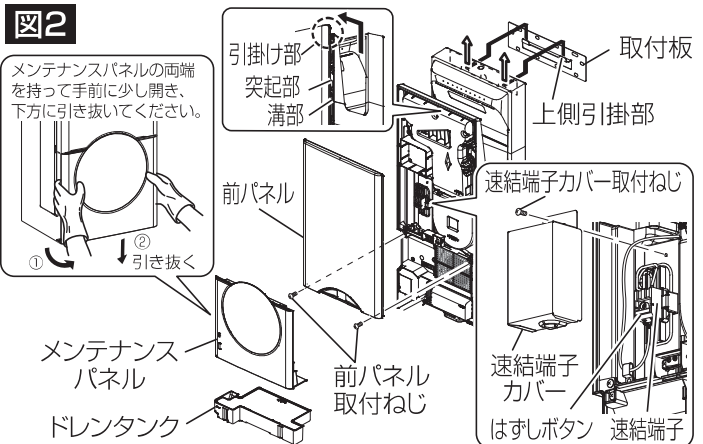
JT-SB116JH2・KN2形、JT-SB216JSH2・KSN2形、
JT-HC116JH2・KN2形、JT-FB116JH2形、JT-FB216JSH2形の場合

図1



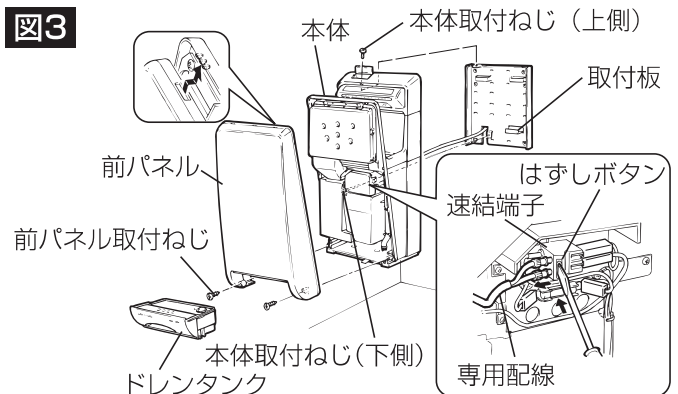
JT-SB116LH・MN形、JT-SB216LSH・MSN形

図2



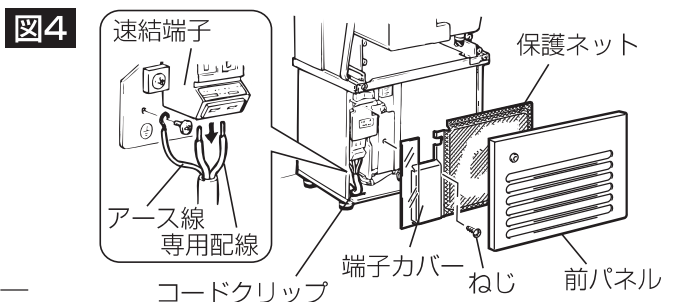
JT-WB220DS形

図3



ヒータースタンドが専用配線の場合

図4

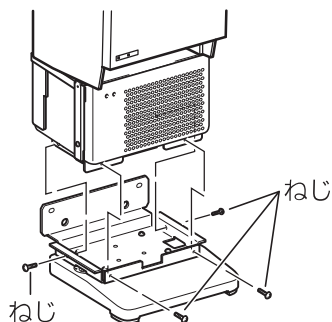


オプション品を使ってジェットタオルを壁または床に固定している場合は、まずジェットタオルとオプション品の固定を解除します。

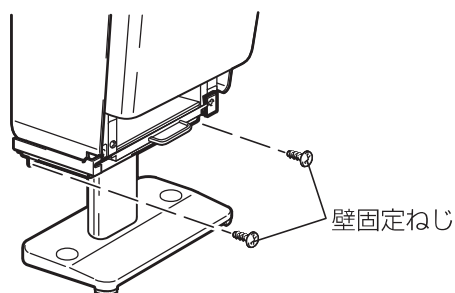
※詳しい固定解除の方法は、オプション品の取付説明書を参照してください。

壁に固定してある場合

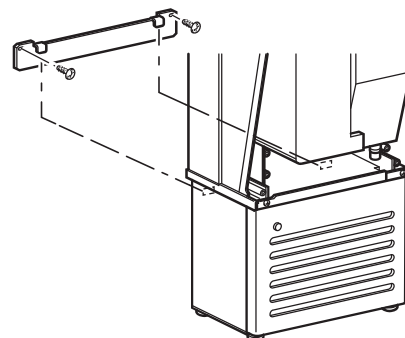
■JP-S06FS2-H



■JP-S21FS2-H

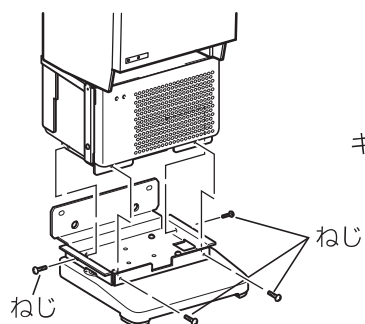


■JP-310HS2

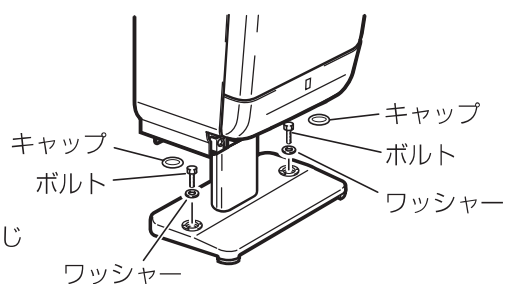


床に固定してある場合

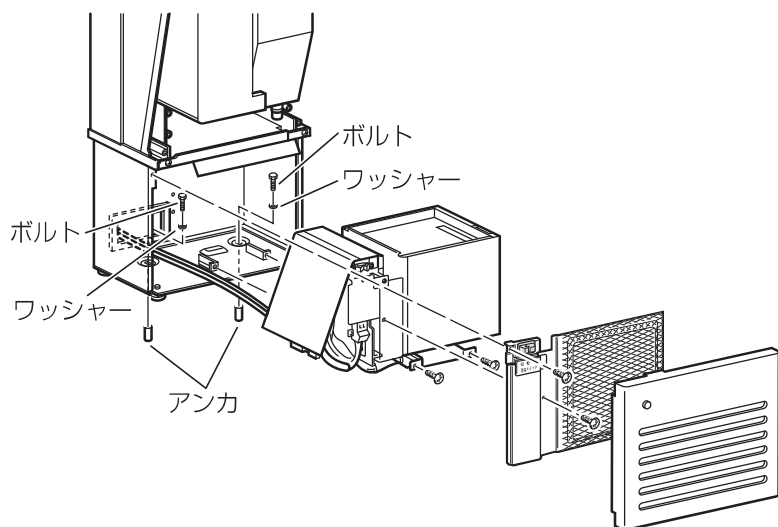
■JP-S06FS2-H



■JP-S21FS2-H



■JP-310HS2



動作遅延時間の調整

1. 必ず回路ボックスおよびジェットタ オルの電源プラグを抜く。

- 専用配線の場合は漏電しゃ断器を切ってください。

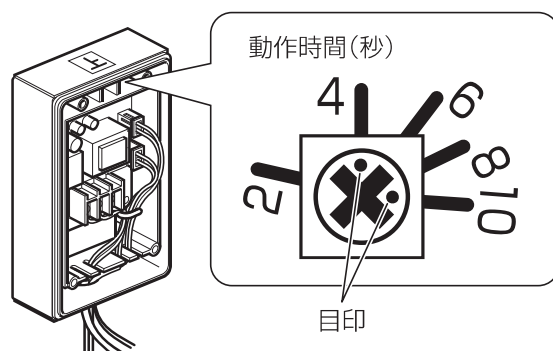
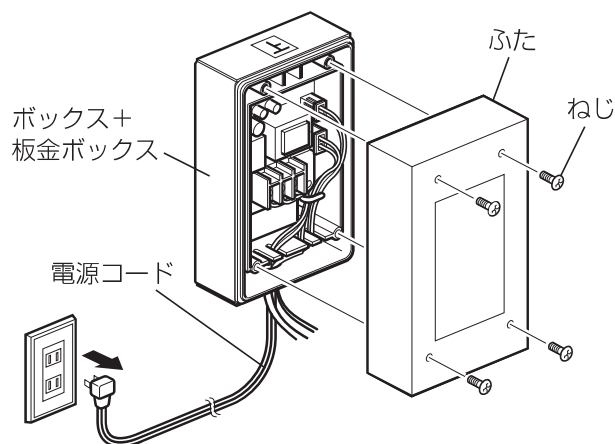
2. ねじ4本を取りはずしてふたを取り はずす。

3. 回路ボックス内の調節ボリュームを 回転させて調節する。

- 目印の間にある十字の先を指定する秒数に合わせてください。
出荷設定は動作時間6（秒）です。

4. ふたを取付ける。

- ① ふたをする前に確実に結線されているか再度確認する。
- ② 取りはずしたねじ4本でボックスにふたを固定する。



動作遅延時間	約2～10秒（調節可、工場出荷時約6秒）
連動出力端子	1c接点（無電圧接点出力）
最大負荷	AC250V 0.2A、DC30V 0.2A
最小負荷	DC5V 10mA
タイムチャート 注1 手の挿入が動作遅延時間より短い場合は、出力は動作いたしません。（点線で示す）	

据付工事後の確認

据付工事が完了しましたら、下表に従ってもう一度点検してください。
不具合がありましたら必ず直してください。
(機能が発揮できないばかりか、安全が確保できません)

No.	項目	確認内容	チェック
1	配線工事	電気設備の技術基準や内線規程に従っているか。 (火災の原因になります)	
2	本体の固定	ジェットタオルの本体は十分な強度のあるところに確実に固定されているか。(けがや故障の原因になります)	
3	自動ドア連動回路ボックスの電源電圧確認	交流100Vであるか。(故障の原因になります)	
4	外部スイッチの確認	外部スイッチは接続されているか。 (ジェットタオルが故障したときに自動ドアを動作させるために必要です)	

試運転

お客様立会いのうえで、試運転を実施してください。

No.	項目	確認内容	チェック
1	電源プラグをコンセントに差し込む、または漏電しゃ断器を「入」にする	電源プラグは確実に差し込まれていますか？	
2	ジェットタオル本体の電源スイッチを「ON」にする JT-SB116JH2・KN2形、 JT-SB216JSH2・KSN2形の場合 タッチスイッチの運転「切/入」を「入」にする JT-FB116JH2形、 JT-FB216JSH2形の場合 お掃除スイッチをOFFにする	表示部のランプは点灯しますか？	
3	ジェットタオルの運転停止	ジェットタオルの運転停止を行い、自動ドアが正しく動作するか確認してください。	
4	動作遅延時間の確認	動作遅延時間は問題ありませんか？ 工場出荷時は約6秒です。 必要に応じて遅延時間を調整してください。	

お客様への説明

- ジェットタオルの取扱説明書に従って、正しい使いかたをご説明ください。
とくに「安全のために必ず守ること」の項は、安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守るようにご説明ください。
- この据付工事説明書は、据付け後、お客様にお渡しください。
- お客様不在の場合、発注者や管理人様に注意事項の説明をお願いいたします。

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号

この説明書は、再生紙を使用しています。